

全国ランキング

表の見方

DPC データの 2016 年 4 月～ 17 年 3 月の退院患者の治療実績をもとに、脳腫瘍、破裂・未破裂脳動脈瘤、脳梗塞の開頭手術と血管内治療の症例数の合計でランキング。24 時間以内に死亡した症例、外来治療や出来高払いになったものは含まれていない。「-」は 0～9 例、または分析対象外。

順位	医療機関名	計	脳腫瘍			くも膜下出血、破裂脳動脈瘤		未破裂脳動脈瘤		脳梗塞			所在地
			外科手術	開頭手術	脳血管内治療	開頭手術	脳血管内治療	開頭手術	脳血管内治療	手術なし(薬物治療)			
1	富永病院	415	112	15	-	114	139	-	35	412	大阪府大阪市		
2	埼玉医科大学国際医療センター	387	68	44	14	112	110	-	39	338	埼玉県日高市		
3	東京女子医科大学病院	375	242	17	-	90	26	-	-	119	東京都新宿区		
4	順天堂大学医学部附属順天堂医院	314	139	-	-	-	175	-	-	162	東京都文京区		
5	広南病院	308	27	32	24	79	108	-	38	483	宮城県仙台市		
6	神戸市立医療センター中央市民病院	281	36	14	12	69	66	11	73	284	兵庫県神戸市		
7	東京慈恵会医科大学附属病院	248	38	-	10	20	162	-	18	190	東京都港区		
8	東京医科大学病院	240	178	21	-	11	20	-	10	151	東京都新宿区		
9	脳神経センター大田記念病院	237	39	16	14	33	59	13	63	552	広島県福山市		
10	藤田保健衛生大学病院	231	92	13	12	43	47	-	24	357	愛知県豊明市		
11	順心病院	219	32	31	-	80	10	44	22	763	兵庫県加古川市		
12	獨協医科大学埼玉医療センター	218	53	11	26	23	87	-	18	175	埼玉県越谷市		
13	福岡大学病院	217	71	11	16	37	72	-	10	129	福岡県福岡市		
14	済生会熊本病院	214	25	65	10	86	-	10	18	638	熊本県熊本市		
15	兵庫医科大学病院	211	26	-	-	64	70	-	51	205	兵庫県西宮市		
16	大西脳神経外科病院	210	53	17	-	38	39	-	63	512	兵庫県明石市		
17	札幌禎心会病院	203	35	29	-	139	-	-	-	429	北海道札幌市		
18	名古屋大学医学部附属病院	199	79	-	-	17	103	-	-	78	愛知県名古屋市		
19	北里大学病院	195	66	24	12	23	36	-	34	140	神奈川県相模原市		
20	旭川赤十字病院	193	19	50	-	81	-	12	31	552	北海道旭川市		
21	馬場記念病院	192	33	22	-	18	40	28	51	534	大阪府堺市		
22	仙台医療センター	190	51	18	-	16	78	-	27	205	宮城県仙台市		
23	中村記念病院	187	66	18	-	66	22	15	-	447	北海道札幌市		
24	筑波大学附属病院	180	132	-	-	-	38	-	10	57	茨城県つくば市		
25	獨協医科大学病院	179	55	28	-	66	10	-	20	286	栃木県下都賀郡		
25	日本医科大学付属病院	179	54	39	-	18	-	-	68	348	東京都文京区		
27	伊勢赤十字病院	177	23	40	-	15	-	20	79	409	三重県伊勢市		
28	長崎大学病院	175	37	22	-	52	21	11	32	205	長崎県長崎市		
29	慶應義塾大学病院	174	128	-	-	21	25	-	-	144	東京都新宿区		
29	京都大学医学部附属病院	174	102	11	-	24	37	-	-	129	京都府京都市		

関西 脳疾患

順位	医療機関名	計	脳腫瘍			くも膜下出血、破裂脳動脈瘤		未破裂脳動脈瘤		脳梗塞			所在地
			外科手術	開頭手術	脳血管内治療	開頭手術	脳血管内治療	開頭手術	脳血管内治療	手術なし(薬物治療)			
1	富永病院	415	112	15	-	114	139	-	35	412	大阪府大阪市		
2	神戸市立医療センター中央市民病院	281	36	14	12	69	66	11	73	284	兵庫県神戸市		
3	順心病院	219	32	31	-	80	10	44	22	763	兵庫県加古川市		
4	兵庫医科大学病院	211	26	-	-	64	70	-	51	205	兵庫県西宮市		
5	大西脳神経外科病院	210	53	17	-	38	39	-	63	512	兵庫県明石市		
6	馬場記念病院	192	33	22	-	18	40	28	51	534	大阪府堺市		
7	京都大学医学部附属病院	174	102	11	-	24	37	-	-	129	京都府京都市		
8	和歌山県立医科大学附属病院	165	54	18	13	-	36	-	44	211	和歌山県和歌山市		
9	奈良県立医科大学附属病院	162	65	29	-	34	23	-	11	110	奈良県橿原市		
10	シミズ病院	150	15	11	26	17	39	-	42	441	京都府京都市		
11	倉敷中央病院	149	41	34	-	11	-	26	37	486	岡山県倉敷市		
12	大阪医科大学附属病院	146	79	-	-	-	55	-	12	128	大阪府高槻市		
13	国立循環器病研究センター	145	-	17	-	39	35	14	40	523	大阪府吹田市		
14	関西ろうさい病院	129	48	19	-	22	14	-	26	159	兵庫県尼崎市		
15	大阪医療センター	125	20	-	-	24	70	-	11	147	大阪府大阪市		
16	豊岡病院	117	11	29	-	12	-	14	51	291	兵庫県豊岡市		
17	京都第一赤十字病院	105	20	13	-	-	-	-	72	215	京都府京都市		
18	大阪警察病院	104	20	18	-	24	11	11	20	213	大阪府大阪市		
19	天理よろづ相談所病院	98	19	14	-	14	20	-	31	294	奈良県天理市		
20	滋賀県病院	96	19	16	-	31	-	-	30	198	滋賀県栗東市		
21	近畿大学医学部附属病院	94	39	15	-	-	17	-	23	182	大阪府大阪狭山市		
22	大阪市立総合医療センター	91	61	-	-	-	16	-	14	145	大阪府大阪市		
23	りんくう総合医療センター	88	-	17	-	-	16	13	42	175	大阪府泉佐野市		
24	大阪市立大学医学部附属病院	85	85	-	-	-	-	-	-	41	大阪府大阪市		
25	神戸大学医学部附属病院	84	84	-	-	-	-	-	-	44	兵庫県神戸市		
26	大阪急性期・総合医療センター	83	31	10	-	27	15	-	-	169	大阪府大阪市		
27	京都第二赤十字病院	82	21	17	-	11	11	-	22	284	京都府京都市		
27	西脇市立西脇病院	82	21	-	-	-	13	-	48	234	兵庫県西脇市		
29	神鋼記念病院	79	19	-	-	12	20	-	28	165	兵庫県神戸市		
30	北野病院	78	52	-	-	12	-	-	14	259	大阪府大阪市		
31	高井病院	72	20	11	-	41	-	-	-	186	奈良県天理市		
32	関西医科大学附属病院	71	49	12	-	-	-	-	10	98	大阪府枚方市		
33	岸和田徳洲会病院	64	-	-	10	-	20	-	34	227	大阪府岸和田市		
34	大阪国際がんセンター	61	61	-	-	-	-	-	-	-	大阪府大阪市		
34	和歌山医療センター	61	20	-	-	-	18	-	23	331	和歌山県和歌山市		
36	京都府立医科大学附属病院	57	43	-	-	-	14	-	-	106	京都府京都市		
37	京都医療センター	55	19	-	11	10	15	-	-	171	京都府京都市		
38	大阪脳神経外科病院	53	23	16	-	-	-	-	14	288	大阪府豊中市		
38	南和歌山医療センター	53	11	17	-	-	-	-	25	390	和歌山県田辺市		
40	八尾徳洲会総合病院	52	14	20	-	-	-	-	18	223	大阪府八尾市		
40	田辺脳神経外科病院	52	19	15	-	18	-	-	-	234	大阪府藤井寺市		

原因不明のふるえに、超音波を使った先進治療が登場

「ふるえ」の治療「本態性振戦」

本態性振戦はほかに病変がなくふるえが出る病気。命にはかかわらないが、仕事や生活に支障が出て悩む人は多い。先進の「MRガイド下集束超音波治療」を先駆け、患者さんたちの駆け込み寺になっている大西脳神経外科病院院長の大西英之氏に最新の治療法を伺った。

仕事や生活に支障が出る原因不明のふるえ

本態性振戦とは、脳腫瘍やパーキンソン病などの原因となる病変がないにもかかわらず、手や声がかかる疾患をいいます。

65歳以上の高齢者の5〜14%に見られるほか、若い人にも発症するという報告もあり、国内の患者数は300万〜1200万人と推定されています。高齢になると、軽度のふるえがあっても加齢による自然現象として放置す

る傾向にあるようです。

しかし、手のふるえから字が書けず困っている方、建築業など技術職の方、パソコンを操作する中でマウスが動かしにくいと訴える方もいて、仕事に支障が出て困っている方は多いのです。

また、例えばコーヒークップを持つとふるえが出るために、友人知人と食事をする席に出るなどの人づきあいが億劫になった結果、孤立してうつうつと過ごしている方もおられます。本態性振戦は生命にはかかわらない

ものの、日常生活に支障が出て、生活の質が落ちる症状といえるでしょう。

治療法としては軽度の場合は抗てんかん薬や、β遮断薬が処方されますが、投薬療法は心不全などの合併症により使えない場合があります。

投薬で改善されない場合は、手術が行われます。定位置手術装置を頭部に固定して、頭蓋骨に小さな穴を開け、高周波電流を流して視床のVim核を凝固させて神経の伝達を止める方法などがありますが、患者さんの負担は少なくありません。

超音波で身体への負担なくふるえを改善する先進治療

最近、注目されているのが超音波を使った治療です。「MRガイド下集束超音波治療(MRgFUS)」装置が開発されて可能になりました。

これは約1000本の超音波ビームを、ちょうど虫眼鏡で光を集めて紙を

燃やすように、脳の特定の個所に集中させて凝固、熱で焼き切つて神経の伝達を止める治療です。

超音波は頭蓋骨を通るので、頭を開ける必要がなく、部位のみをピンポイントで治療できるため、身体への負担が少なく、治療後の回復もたいへん速やかです。

MRI(磁気共鳴画像装置)で脳内を確認しながら超音波を当てるので、治療が終了すると同時に、それまでふるえのためにうまく描けなかった渦巻きがきれいな線に描けるようになるなど、症状が劇的に改善され、患者さんの満足度も大きいですね。

治療に当たっては頭髪を剃る必要があります。歯科でインプラント治療をした人は不適であるなどの条件があります。また、現在は公的医療保険が適応されておらず自由診療での治療になります。今後、長期的に経過を見る必要はありますが、将来的には超音波を使って脳腫瘍、認知症、パーキンソン病のふるえへの軽減効果が期待されています。



医療法人社団 英明会
大西脳神経外科病院
理事長・院長

大西 英之

おおにしひでゆき／奈良県立医科大学臨床教授。医学博士。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医・指導医。日本脳卒中学会認定脳卒中専門医。MRガイド下集束超音波治療器講習会修了。第59回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会会長。第71回近畿脳腫瘍研究会会長。第63回近畿脊髄学会会長。第7回パンパシフィック脳神経外科学会会長。第18回日本臨床脳神経外科学会会長。



大西脳神経外科病院では、MRガイド下集束超音波治療を臨床試験と自由診療を含め22例実施。極めて良好な結果を得ている。



救急治療、早期リハビリで回復支援。 連携システムが整ったクリニックも開院

脳外科の専門病院として2000年に開院した大西脳神経外科病院。明石市、加古川市、神戸市西区など兵庫県東播磨地区周辺の人口約100万人を擁する地域で、脳卒中、脳腫瘍、脊髄・脊髄、リハビリなど各分野での専門治療を担い、住民の信頼を得ている。



理事長・院長
大西 英之
おおいしひでゆき / 医学博士、奈良県立医科大学臨床教授、日本脳神経外科学会脳神経外科専門医。

の患者さんのためになると考えたのです」(大西院長、以下同)。
以来18年。

地域に貢献する 脳外科に特化した病院

大西脳神経外科病院の創立は2000年。脳外科医として長く一線で活躍している大西英之院長が、さらに高度な医療を求め、50代半ばにして設立した。「脳神経外科に特化した単科病院なら救急搬送されてきた患者さんに対して、すぐ検査をし、診断、治療に取りかかれます。ハード面、ソフト面ともに脳の疾患だけに集中できれば、地域

プレホスピタルレコード / 救急隊と協力して導入。隊員の的確な脳外科搬送の判断に役立ち、スピーディーな連携につながっている。

プレホスピタルレコード」を導入。患者さんをすぐ検査し、治療を開始することができる。その結果、脳梗塞発症後4・5時間以内に投与する血栓溶解剤tPAの実施率は8・7%と全国平均4・5%を上回る。

現在、ベッド数153床(急性期・回復期合計)は脳神経外科単科病院で全国有数。MRI4台、CT2台、手術室4室(うち、1室はハイブリッド手術室)を備え、夜間に医師3名が待機するなどスタッフも充実。人口約100万人を擁する兵庫県東播磨地域で、脳卒中などの、待ったなしの疾患に365日24時間体制で向き合っている。

搬送には救急隊と連携、隊員が確に判断ができる「プレホスピタルレコード」を導入。患者さんをすぐ検査し、治療を開始することができる。その結果、脳梗塞発症後4・5時間以内に投与する血栓溶解剤tPAの実施率は8・7%と全国平均4・5%を上回る。

また、手術中にMRI検査を行える術中MRI体制や脳血管造影を手術室内で行えるハイブリッド手術室を備え、検査から治療へ速やかに移行できるなど、治療成績を向上させる設備がそろっている。

質の高い専門的治療と リハビリで患者を支援

院内は脳卒中センター、脳腫瘍・頭蓋底外科センター、脊椎脊髄センター、リハビリテーションセンターの各病棟に分かれ、分野別に、専門的治療と、質の高い綿密な看護が提供される。

力を入れているのが回復期の



脳血管内治療手術の様子 / ハイブリッド手術室とスタッフの充実により、24時間365日、脳血管内治療専門医による対応が可能。先進的な技術やデバイスを積極的に取り入れている。



本態性振戦「ふるえの治癒」/ MRガイド下集束超音波治療を臨床試験と自由診療を含め22例実施。極めて良好な結果を得ている。

ケアで、リハビリ用にベッド数153床のうち、31床が用意されている。

「脳卒中の治療がうまくいったとしても、その後に誤嚥性肺炎にかかる患者さんが多く、それなくしたいと思いました。そこで当院では手術の翌日からリハビリを開始するなど、回復期を重要視しています」

治療には医師、看護師とともに、理学療法士、言語療法士、栄養士がそれぞれの専門的立場から個々にリハビリのプランを立て、呼吸器合併症予防に取り組み。

その結果、脳卒中後の呼吸器合併症発生率は約7%(全国平均約30%)と成果を上げている。その後、兵庫県立リハビリテーション中央病院とクリニックパスを用いて連携し、患者さんの早期社会復帰を支援する。

先進治療を先駆け 新院開設でより便利に

この病院ならではの新しい試

みもされている。

2016年には「MRガイド下集束超音波治療(MRG FUS)」装置を導入。原因不明のふるえ(本態性振戦)に悩む患者さんに対応している。この治療ができる施設は、兵庫県では唯一、近畿地方でも2施設のうちの一つである。

また、地域住民からの要望に応え、2017年1月には、JR山陽本線・明石駅前新院「大西脳神経クリニック」を開院した。めまい、しびれ、耳鳴りなどの症状を診察。本院と電子カルテで連携し、必要に応じて本院での検査治療が可能。アクセスのよい「かかりつけ」クリニックとなっている。

HOSPITAL DATA



医療法人社団 英明会
大西脳神経外科病院
〒674-0064
兵庫県明石市大久保町江井島1661-1
TEL.078-938-1238
http://www.onc.akashi.hyogo.jp/



大西脳外科クリニック
〒673-0891
兵庫県明石市大明石町1-6-1ハビオス明石3階
TEL.078-911-0024
http://www.onc.akashi.hyogo.jp/pegees/clinic_open.html